

大成ホーム・シンバネットワーク・メイクマン 29年度市民の夢応援プロジェクト～第17回まちづくりプラン賞～

平成29年度 第3回浦添市子連 「少年の船」交流体験 キャンプIN渡嘉敷事業



第3回浦添市子連「少年の船」交流体験キャンプIN渡嘉敷事業記念写真

平成29年8月17日（木）～19日（土）・10月14日（土）



第3回浦添市子連「少年の船」交流体験キャンプin渡嘉敷 2017. 8. 17(木)～19(土)

1. 事業の目的

次代を担う子どもたちに対し、「体験活動等を伝え、渡嘉敷島から学ぶ」をテーマに他島の青少年との交流・体験活動を通して友情や生きる力を育むとともに、規律ある共同生活を通して友情を深め、自主性及び協調性を養い、併せて生きる力を育てることを目的に、浦添市子連「少年の船」交体験キャンプIN渡嘉敷事業によって、子どもの基本的な人格の形成と自立の確立を促すとともに、青少年の健全育成の原動力となる目的に実施する。

2. 事業の概要

子どもたちの自然体験、社会体験、生活体験の中、青少年同士の交流・体験活動をとおして友情や生きる力を育むとともに、規律ある共同生活をとおして自主性及び協調性を養うことを目的に、浦添市子連「少年の船」交流体験キャンプIN渡嘉敷事業によって、子どもの基本的な人格の形成と自立の確立を促すとともに、青少年の健全育成の原動力となる目的で実施する。

2. 事業の概要

(1) 名称 平成29年度第3回浦添市子連「少年の船」交流体験キャンプIN渡嘉敷事業

(2) 主催 浦添市子ども会育成連絡協議会

(3) 日程 平成29年8月17日(木)～8月19日(土) 2泊3日

(4) 訪問地 渡嘉敷村内 国立青年の家

(5) 参加人員及び団構成委員

(ア) 参加人数 67人

(イ) (内訳) ・一般団員 市内に在住する小学4・5・6年生 計42人

※三年生以下は保護者同伴

市内に在住する中学生(副班長) 計 6人

・班長 市内に在住する高校生 計 6人

・役職員 名誉団長1人、団長1人、事務局長1人、事務局職員7人 講師3名 計 13人

・団構成 5班編成 (一斑11人、小学生9人、中学生(副班長)1人、高校生(班長)1人で編成)

(ウ) ・経費 一般団員小学生 10,000円 (船賃、バス賃、シャツ、帽子など)

(エ)活動内容

(1)事前研修

地区	日時	交通機関	活動内容	場所
浦添市	8月5日(土) 9:00～13:00	保護者で送迎	事業概要説明、団員の心得、班団員の紹介他 レクリエーション、体験学習準備	浦添市立中央公民館 3階大ホール

(2)本研修

月 日	交通機関	活動内容	宿泊
1日目 8月17日(木)	保護者で送迎 船・バス	結団式～出発式(泊港)～渡嘉敷港～バスでキャンプ場:入村式 ～オリエンテーション～テント活動～海洋研修(オープンカヤック・スーパーフロート ～水泳等)～野外飯盒炊飯活動～キャンプファイヤーの集い(班別創作発表)	キャンプ場
2日目 8月18日(金)	バス	野外飯盒炊飯活動～海辺散策(貝塚拾い)～海洋研修(大型カヌー)～ビーチスポーツ～ 工作(砂、貝使用)～飯盒炊飯活動～星座観察(本館展望台)～バスで移動	本館
3日目 8月19日(土)	バス・船 保護者で迎える	朝の飯盒炊飯活動～朝のフォトウォークラリー(キャンプ場周辺を散策)～渡嘉敷村を学 ぶ)～テント撤収～第2回目の夏休みの工作(葉っぱアートの作成)～仲良く清掃 ～退村式～渡嘉敷港フェリー～那覇港～解団式	場所:迎・解団式:泊港

(3)事後研修

月 日	交通機関	活動内容	宿泊
10月14日(土) 9:00～13:00	保護者で送迎	事業報告書の配布、寄せ書き 団員同士の交流～楽しいレクリエーション、作文発表(代表)	浦添市立中央公民館 3階ホール

活動実績報告書

種 目	説 明
プラン賞への応募及び募集案内の準備・パンフレット作成・配布	◇5月21日 理事会・総会で第3回「少年の船」事業の承認得る ◇7月8日 第3回「少年の船」事業のパンフレット印刷の準備 ◇7月8日 シンバネットワーク協力事業28年度市民の夢応援プロジェクトまちづくりプラン賞報告会に参加、報告をする。 ◇7月10日 平成29年度第3回浦添市子連「少年の船」交流体験キャンプIN渡嘉敷事業募集案内パンフレットの作成準備に係る。 ◇7月11日 印刷業者へ応募パンフレットの印刷物17,000枚を依頼 ◇7月11日 船舶会社へフェリー渡嘉敷乗船人数役70名分予約する・ ◇7月12日 応募パンフレット印刷物が搬入 ◇7月12日～7月13日 市内小学校4年生以上に配布できるように4枚綴りで1クラス(35人分)ごとに3名で仕分作業に係る。
募集受付開始	◇7月13日 パンフレットが足りず7000枚追加印刷作業 ◇7月14日～7月18日 小学校4年生以上児童へ校長先生宛てに配布依頼する。 ◆7月19日 第3回浦添市子連「少年の船」交流体験キャンプIN渡嘉敷事業目的に参加者募集受付が開始した。
「少年の船」事業説明会及び事前研修資料作成	◇7月21日 シンバネットワーク、メイクマン、大成ホーム事業市民の夢応援プロジェクトに100万円コースに応募する。 ◇7月28日 第3回「少年の船」の募集締め切り(32名の応募者) ◇8月2日 団員決定通知を郵便で発送 ◇8月3日 説明会及び事前研修に伴う資料作り。 ◇8月5日 事業概要の説明・((顔合わせワークショップ)団員の心得。レクリエーション・体験学習準備(事前研修含む)班長・副班長の事前研修 8月5日以後でも申し込み受付をすることを参加者皆さんに周知する。
事業準備 事務連絡会議 現地訪問 事業の内容等のプレゼンテーション参加	◇8月7日 Tシャツ(ユニホーム)帽の注文。デザイン等の打ち合わせ等 ◇8月7日 国立青少年の家訪問、事前に事業プログラム打合わせをする。 ◇8月8日～8月10日 国立青少年の家との調整等他食事、食材等 ◇8月8日 船舶会社へ車両の追加乗船を申し込む。 ◇8月12日 シンバネットワーク・メイクマン・大成ホーム協力事業29年度市民の夢応援プロジェクト第17回まちづくりプラン賞公開プレゼンテーションに獲得久会長が参加、100万円コースの夢を公開する
事業の準備等	◇8月14日 シンバネットワーク・メイクマン・大成ホーム協力事業平成29年度市民の夢応援プロジェクト、第17回まちづくりプラン賞100万円コース決定通知を得る。 ◇8月14日 100万円コースの通知を受け、Tシャツの追加を急ぎで手配説(シャツ2枚全員に配布できるように準備

種 目	説 明
本事業の準備	◇8月15日 船舶の確認、バスの確認、役職員の確認、道具等の確認 ◇8月15日 講師(工作、星座)との打合せ ◇8月15日～16日 本研修の作成、資料等の印刷。 ◇8月16日 Tシャツと帽子が71名分搬入された ◇8月16日 Tシャツ・帽子を団員、班長等に事務局で配布する。 ◇8月16日 工作用具や教材の準備
第3回「少年の船」事業本研修(渡嘉敷島での交流体験)2泊3日	◇8月17日・結団式・出発式・大成ホーム喜名社長迎えてセレモニー(泊港)・出発式後フェリー渡嘉敷乗船～渡嘉敷港～バス～現地 ・国立青年の家キャンプ場入村式オリエンテーション・テント設営・海洋研修・水泳体験・飯盒炊飯活動・キャンプファイヤーの集い(班別創作発表会) ◇8月18日 ・飯盒炊飯・海辺散策(貝殻拾い)・海洋研修・ビーチスポーツ・夏休み工作(フレームに貝殻を装飾する)飯盒炊飯活動～星座観察(本館展望台へ)バスで本館へ移動 ◇8月18日 ・企業協力事業29年度夢応援プロジェクトまちづくりプラン賞100万円コースでの表彰式で表彰される。 ・第17回まちづくりプラン賞に伴う申請書提出する ◇8月19日 朝のフォトウォークラリーキャンプ場周辺散策(渡嘉敷村を学・2回目の夏休み工作(葉っぱアート)・記念撮影等・退村式
「少年の船」事後研修	◇10月9日 団員・班長各位への事後研修の案内通知作成・郵送 ◇10月13日 事後研修の作文用紙、冊子資料作り ◇10月14日 事業報告書の配布・メンバーの寄せ書き・団員、班長、副班長等レクリエーション交流、作文発表(各班の代表者)記念撮影
活動写真整理	◇11月20日～12月20日 ・カメラのメモカードより活動写真の選定活動 ・USBレターに活動写真を挿入 ・1月の子ども会まつりにむけてパネル展示ように写真印刷
写真選定、編集	A4サイズで35枚に印刷仕上げ
DVD用編集及び記念写真印刷ラミネート作業DVD製作	◇1月9日～1月25日 中央公民館3Fロービーに「少年の船」活動写真を展示 ◇1月28日 ・活動の様子を題36回子ども会まつりでパネル展示 ◇2月5日 ・活動をふりかえ、～25日果や活動の様子をDVDアルバムにして団員、班長、副班長、役職員、講師に贈呈するに選定作業。 ◇2月6日 ・渡嘉敷村に国立青少年の家にお世話になったあいさつ回り訪問、国立青少年の家所長、副所長にあいさつができた。 ◇2月9日～2月19日 DVD用写真印刷や編集作業等を修了。 ◇2月21日 ・沖縄動画編集屋にDVD盤面製作、カラー印刷、コピー等80枚依頼 ◇2月24日 ・沖縄動画編集屋からDVD活動アルバム80枚仕上がり搬入 ◇2月24日～25日 ・記念写真A4サイズ2件の140枚カラー印刷、ラミネート仕上げ、DVD1枚と記念写真2枚を郵送の準備作業 ◇2月26日 ・記念写真、DVDを団員、班長、副班長、役職員、講師に郵送

収支精算書

収入の部

種 目	決 算 額	計 画 額	増 減	説 明
助成金	1,000,000	1,000,000	0	市民の夢応援プロジェクトまちづくりプラン賞
受賞者負担金	355,730	386,000	▼30,270	参加者負担金(小学生)
寄付金	5,736	10,000	▼4,264	新崎、島袋
合 計	1,361,466	1,396,000	▼34,534	

支出の部

種 目	決算額	計 画 額	増 減	説 明
交通費	354,776	330,400	24,776	船賃(往復)小学生42名分63,000円・中学生、高校生、一般 22名分66,000円 他講師3名分13,500円・環境税21名分2,100円車両2台＋運転手込みの船賃30,560円 燃料代7,300(泊港→渡嘉敷港→泊港)主に渡嘉敷島での燃料代・マイクロバス賃借料3台×3日 61,616円(渡嘉敷港→キャンプ場→本館→渡嘉敷港)現地訪問役場等あいさつ・車両一台13,100円・船賃3名6,320円 環境税300円正副班長役職員の費用弁償23名95,000円
食材費	303,978	364,500	▼60,522	米、肉(ブタ肉、牛肉、鶏肉)ウインナーソーセージ・焼きそば、野菜類、卵、パン、牛乳・バナナ・調味料、(バーベキュー夕食・朝食)洗剤・容器・タオルペーパー・ティッシュペーパー・薪、氷、指定ゴミ袋等(3日分)昼食弁当代3食他
使用賃借料	29,830	50,000	▼20,170	キャンプファイヤーセット(トーチ、灯油含む)薪代・ガス代・大型天体望遠鏡賃借料・クーラ料
教材及び講師謝礼	57,347	70,000	▼12,653	教材(葉っぱアート材料・フレーム・貝ガラピタガン用スティック・ボンド・乾電池等)キャンプファイヤー用小道具材料生地代 講師謝礼4名分 40,000円
印刷費	230,391	178,000	52,391	印刷代・パソコン用インク・白紙・事務用消耗品印刷機用マスター用紙・インク)ラミネータ、フィルム写真用紙、DVD、CD作成、記念アルバム代
需用費	341,014	340,000	1,014	ネームプレートホルダー代、Tシャツ(2枚)・帽子(プリント入)71名分・横幕、のぼり、他薬代
保険料	20,100	20,100	0	全子連安全会費(300円の67名)
通信費	24,030	43,000	▼18,970	CD記念活動アルバム発送)料金別納・切手代(通知案内・記念写真
合 計	1,361,466	1,396,000	▼34,534	

8月5日（土）説明会及び事前研修会



～説明会後結団式と事前研修～

～班（1班～5班）も決まり。班別に分かれ本研修会の話し合いをする班長、副班長、団員～



「本番に向けてチクサクコールの練習」

「班長、副班長と団長、研修係、事務長」



8月17日（木）那覇泊港での出発式

「元気よくチクサクコール」



「出発前に大成ホーム喜名社長が激励のあいさつ」



「総班長、班長等の指示でチクサクコール」





～ 8月17日（木）フェリー渡嘉敷船バックに
大成ホーム喜名社長と共に記念写真～



～ 8月17日（木）泊港広場で出発前に全員笑顔でハイピース～

「8月17日船での乗船、船上、下船の様子」



8月17日（木）入村式・テント設営の様子



8月17日（木）夕食の飯盒炊飯活動 美味しいバーベキュー



8月17日(木)楽しいキャンプファイヤーの集い



8月18日(金)朝の集い・海辺散策(工作用の貝拾い)



8月18日(金)海洋研修(オープンカヤック・スーパーフロート・水泳)

＜楽しい海洋研修（二人乗りカヤックをよいしょと）＞



＜青い海原で水泳をきもちよさそうに＞



＜ハイピースでスーパーフロート＞





8月18日（金）貝を利用しての工作（フレームに装飾）



8月18日（金）海洋体験（大型カヌー体験）



8月18日（金）カヌー体験後の各班グループの思い出の記念（団長と共に）



8月18日（金）夕食の飯ごう炊飯（カレーを作ろう）





8月18日（金）星座観察は本館展望台・・・土星等きれいな星がいっぱい。（赤嶺



8月19日（土）朝のウォーキング・元気よくキャンプ場周辺を散策

「朝のウォーキングで元気よく歩け、歩け、渡嘉敷村を学ぶ」



8月19日（土）寝泊りをしたテント撤収の仕方（国立青少年の家職員が指導）



8月19日（土）第2回、夏休み工作・葉っぱアート、貝を飾ったフレームに仕上げよう
工作担当の仲地先生、西里先生の指導で素敵なものが仕上がった



8月17日（木）～8月19日（土）美味しかった朝食・昼食のお弁当



8月19日（土）2泊3日のキャンプIN渡嘉敷事業を後にして
「お世話になったキャンプ場ともお別れ。退村式」
「渡嘉敷港へ移動、バスへの乗合の準備」



～8月19日（土）フェリー渡嘉敷から下船後、疲れも見せず泊港広場で解団式～





平成29年8月19日（土）第3回浦添市子連「少年の船」交流体験キャンプIN渡嘉敷 解団式後の記念（泊港広場）

10月14日(土) 事後研修会(メンバーの寄せ書き、レク交流、代表発表)



『楽しかった、「少年の船」また会えるといいね。』



「作文に思い出いっぱい書く団員」



「久しぶりに逢う団員、笑顔で」





【最後のプログラム、レク交流で大賑わい。楽しかった「少年の船」をいつまでも忘れないでおこう。又、大きくなったら逢いたいね。】



平成29年10月14日（土）中央公民館で事後研修後の記念に



10月14日（土）色紙への一筆（思い出をひとつにして）～
団員・班長・副班長たちのおもいを色紙へ



団員・班長・役職員・父兄の感想・思い出

◎「渡嘉敷島の思い出」……1班 祖堅美海 前田小学校

渡嘉敷島に行って私は楽しかった事、心に残ったことがあります。まず、船に乗ったことです。船に乗ったことは4回目だけど、景色がきれいだったので気持ち良かったです。夜に作った料理はみんなで作った料理なので、とても美味しかったです。あと、キャンプファイヤーも良かったです。キャンプファイヤーでは一班男子はPPAPをして女子は「恋ダンス」を踊ってちょっぴり恥ずかしかったけどとても楽しかったです。次の思い出では星座観察です。星座観察では珍しい星を見たり寝転がって天を見ながら星を見れたのが良かったです。渡嘉敷島に行って、いろいろな体験する事ができたので良かったです。

◎楽しかった二泊三日の旅……2班 新川あつし 前田小学校

ぼくは、この「少年の船」に参加して、なんで、こんなに短いのだろうと思いました。なぜなら、二泊三日は短いから「もっと長くなればいいのに」と思ったからです。最初、誰も友達がいないので心配だったけど、同じ学校で同級生がいたのでほっとしました。僕は渡嘉敷島に行って楽しい事が数点ありました。一つはキャンプファイヤーです。なぜなら、みんなが出し物をして楽しむからです。二つ目は大きなカヌーに乗ってサンゴを見たことです。三つ目は夜に星座観察をしたことです。なぜなら、アスファルトに寝転がって夏の三大三角形や白鳥座等いろいろな星座を見ることができたからです。この「少年の船」を体験して知らない人たちと友達になったり、みんなと楽しんだりすることができたのでうれしかったです。

◎「少年の船」キャンプIN渡嘉敷……3班 前田凜香 宮城小学校

私は「少年の船」にまた参加したいです。なぜならキャンプファイヤーやカレー作り、海での体験等がとても楽しくできたからです。キャンプファイヤーは他の班のダンスを見たり、自分の班がダンスを踊ったり、友情の女神、努力の女神等の女神がキャンプファイヤーの火を点火する場面を見たりして良かったです。もしも「少年の船」がなかったら私は夏休み中はひますぎだったでしょう。少年の船は知らない人たちと二泊三日暮らすので友達がいっぱいできる。だから、少年の船にまた参加したいです。

◎「少年の船」IN とかしき……4班 名城有紗 神森小学校

私は17日から19日まで渡嘉敷島にある国立青少年の家のキャンプ場で市内に住む約52人で交流体験キャンプに参加しました。このキャンプでの団員の心得には、「団員お互いが、きまりやマナーを守り、他人に迷惑をかけないようにしましょう」「心身ともに健康で、規律ある団体生活をしましょう」「自ら進んで行動し、他人と協力する精神を養いましょう」「班長・副班長や職員の指示にはきちんと従いましょう」などがあり、以上の心得を実践することをちかい、キャンプがスタートしました。1日目で心に残ったことが二つあります。一つ目は、テント設営がとっても大変だったことです。二つ目は、キャンプファイヤーで班ごとに踊ったり、歌ったりして楽しかったことです。2日目で心に残ったことは四つあります。一つ目は、海でカヌーに乗ったり、泳いだりしてとても楽しかったです。二つ目は、拾った貝がらで工作して、むずかしかった事です。三つめは、カレー作りをして、カレーがとっても美味しかったです。四つ目は、星座観察に行って、木星や土星、天の川などいろいろな星を見て、きれいだったことです。3日目で心に残ったことは、三つあります。一つ目は、ウォークラリーでとてもつかれたけど、楽しかったことです。二つ目は葉っぱアートでむずかしくて、細かいけど、楽しくできたことです。三つめは、解団式でみんなと別れるので、さびしかった事です。私は国立青少年の家キャンプ場に泊まって、自然とふれあったり、迷惑をかけないで他人と協力したりすることは大切な。と思いました。

◎「少年の船」の思いで……5班 嘉陽一晟 沢岬小学校

三日間の「少年の船」交流体験キャンプ渡嘉敷へ行ってきました。行く前の事前研修のあつまりでは友達がいなくて、不安の気持ちでした。でも船に乗る体験が無かったので、初めて船に乗るのはとても楽しみでした。出発式で船の前でリーダーのチクサクコールの合図で自分も大きな掛け声をした。渡嘉敷船に乗り、見送りの人たちに手を振って出発しました。渡嘉敷島に着くととても海がキレイくてびっくりしました。キャンプ場ではテント設営したあとはみんなで海に行き泳ぎました。キャンプファイヤーではドラえもんダンスを5班全員で披露しました。恥ずかしかったです。海洋体験もあれもこれもしました。二人のリカヤックにのた時はバランスを崩して海水が入ってきました。櫂になれどスピードが出て気持ち良かったです。夜は星座観察で本館展望台にバスで移動しました。展望台で大型望遠鏡で土星、木星等見ました。びっくりしたのは土星を写真で見たものと同じだったのでびっくりしました。最後の海洋大家は大型カヌーでした。櫂の漕ぎ方が小さいのとはちがうので難しかったです。もっと、上手に乗れるようになりたいと思いました。三日間の体験活動を終えて泊港へ船に乗って帰りました。あと、一日位過ごし良かったです。とても楽しい夏休みの思い出になりました。又、来年も参加したいです。

◎第三回「少年の船」に参加して……2班 班長 山内友輔

今回、初めてこの「少年の船」に参加して、同じ浦添市に住む小・中学生と研修することができて良かったと思います。なかなか無い体験が多く、班長として心配なところも多かったのですが、班で協力して過ごすことができたのではないかと思います。盛り上げてくれる子がいたり、まじめな子がいたり、元気な班のみんなのおかげで、楽しい思い出を作ることができました。キャンプファイヤーでは、各班協力し、練習して楽しめたのではないかと思います。総班長に注意されることも多くありましたが、副班長にも手伝ってもらい、助けてもらいました。今後も何らかの形でみんなと関わることができたらいいなと思います。

◎少年の船に参加して……役職員 上地宏美

初めて参加させて頂きましたが、親子でとても貴重な経験をする事ができ、感謝の気持ちで一杯です。大型カヌーの体験、星空観察、とても楽しかったです。また、各班長が下の子達を上手にまとめていたので、感心しました。一つ気になったのは、片付ができていない班があったりしたので、積極的な声掛けで全員が出来るようになるといいなと思いました。団長を始め、携わって頂いた全てのスタッフの方々へ、心から感謝の気持ちをお伝えしたいです。「どうもありがとうございました。」こども達は、貴重な体験を糧に、一回りも二回りも成長できたと思ってます。浦添市は子育て環境にとっても恵まれていると思いました。来年もぜひ少年の船がある事を願います。ありがとうございました。

◎少年の船に参加して……2班 父母の感想

少年の船の案内を見た時に、すぐに興味を持ちました。子どもにも「参加してみる？」と聞いてみたら積極的に参加してくれました。費用は「一言目に高い」といってしまいましたが、内容を見直すと、とても充実していて、この費用ではこれだけの体験活動ができると思ったら安いぐらいです。いろいろ体験できるのはすごいと思いました。家族では、とうていできないですね。また、年上のお兄ちゃんやお姉ちゃん、同級生、年下の子達と団体生活をとって娘にとっても心身共に成長できたと思います。ありがとうございました。